

# 震災を踏まえた津波防災上の課題と対策の整理

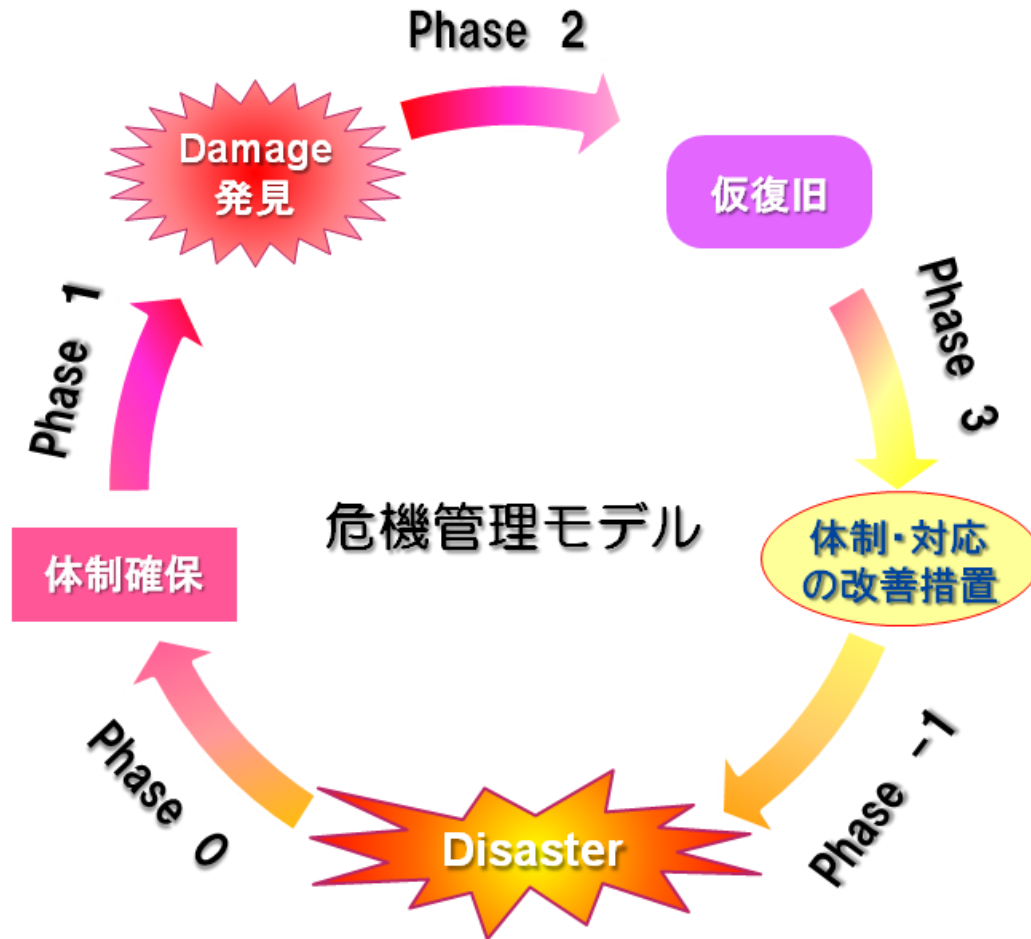
---

北海道開発局

平成23年9月20日

○参考: 危機管理モデル(北海道開発局モデル)

京都大学防災研究所の危機管理モデルをベースとして、北海道開発局における実際の災害対応の行動を分析し作成。



Phase	概要
Phase -1	発災直前の行動（注意・警戒等）
Phase 0	発災直後から組織的な対応がとれるまでの間の期間
Phase 1	初動（情報収集）、通行規制等（被害等を未然に防ぐための回避行動）
Phase 2	応急対策、緊急対策、啓開等（住民の生命等を守るための活動、社会に与える影響やダメージを軽減させるための行動）
Phase 3	復旧、（復興）

項目	Phase -1	Phase 0	Phase 1	Phase 2	Phase 3
港湾・漁港					
道路					
河川					
空港					
住民等への対応					
住民等への広報・ 情報提供					
業務継続体制の 確保					

津波対策の現状と課題の整理

防災対策・防災事業のあり方

- 強化すべき施策
- 改善すべき施策

必要により

関係機関との連携が重要となる施策に関して  
関係機関との連携の方向性